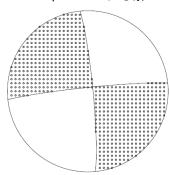
## 7月10日ソロモン諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

## W-phase による解



2015 年 7 月 10 日 13 時 12 分 (日本時間) にソロモン諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mw とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 6.7 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は S9. 4°、 E158. 1°、 深さ 14km となった。

W-phase の解析では、震央距離  $10^\circ \sim 90^\circ$  までの 37 観測点の上下成分、26 観測点の水平成分を用い、 $100\sim 300$  秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw	$M_{\mathrm{O}}$	断層面解 1 (走向/傾斜/すべり角) 断層面解 2 (走向/傾斜/すべり角)
6. 7	$1.42 \times 10^{19} \text{Nm}$	$354.5^{\circ}$ /84.7° /-176.1° $264.1^{\circ}$ /86.1° /-5.3°
FAMA MENTE AFF	ANZO SNZO MBWA JOHN RAR MIDW	ADK BDJ

--- 観測波形 --- 理論波形 (解析に用いた上下成分のデータ範囲\*のみ表示)

5000 秒

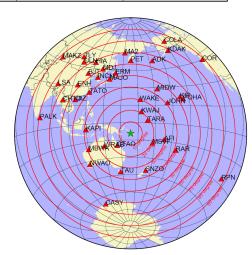
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、 各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置 気象庁作成